

令和4年度福岡県学力調査(5年生)の結果について

6月に5年生を対象に行った、福岡県学力調査（国語・算数）の結果をお知らせします。この結果は学力の全てではなく一部です。しかし、学校では、この結果をしっかりと分析し、今後の指導に活かしていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、お子様の学力の実態をとらえ、家庭で働きかける一つの資料としてお考えください。

国語（福岡県調査）

◇国語について、県平均よりやや上回っています。

◇特に「修飾と被修飾の関係を捉える」や「文を要約する」等の記述式問題について県平均に比べ正答率が高くなっています。また、「漢字を読むこと」については県平均と同等となっています。

◇これは、普段の授業はもちろん、宿題においても活用的な問題を多く取り扱ってきた成果と言えます。

◆今後は、これまで以上に基礎的学力の定着を図る取組を行う事と併せて、自分の考えを持ち、考えを交流し、表現していく活動を多く取り入れたり、書く活動を増やしたりしていくことで活用力を培っていきます。

算数（福岡県調査）

◇算数について、県平均よりやや上回っています。

◇どの領域においても高い正答率となっていますが、特に、「文章を読み取って立式すること」「式を説明すること」において、県平均に比べ正答率が高くなっています。一方、「割合の関係図を作成すること」「正しいグラフを選択すること」の問題については、県平均を下回る結果となっています。

◇このことから、活用力については高まりが見られますが、図やグラフに表す力や読み取る力に課題があることが分かります。

◆今後は引き続き、基礎学力の定着を図りながら、特に、図やグラフに表す・読み取る活動を多く取り入れた授業を行ってまいります。